

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

鋼若くは鐵管亞鉛鍍金裝置 (9年特許公告第8號、公告9-1-8、川崎市、日本鋼管株式會社) 管體面に均等なる亞鉛層を密着し且迅速に冷却せしむる目的を以て亞鉛浴槽内に管體を浴中に押込むべき腕桿を有する廻轉軸を設け浴槽外の引揚管の通路上に内側に多數の細孔を穿てる環狀壓搾空氣噴射嘴を備へ引揚管をして該噴射嘴の環狀部を潛り運行せしむる間均一に壓搾空氣を吹付くべく構成せる鋼若くは鐵管亞鉛鍍金裝置。

銅合金 (9年特許公告第9號、公告9-1-8、東京市、三菱造船株式會社) 一般機械的性質、耐腐蝕性亦極めて優秀而も比重少にして組織稠密なる特徴を有し一般兵器、航空機、艦船、電機其他一般機械類の鍛鍊及鑄造用材料に適せる銅合金を得んとする目的を以て百分率に於て Al 8~12, Fe 2.0~5, Ni 0.5~2, Mg 0.5~2 及殘部 Cu を含有せる銅合金。

金屬環工作機械 (9年特許公告第12號、公告9-1-8、東京市、財團法人理化學研究所) 金屬環を切削して所要の寸法を與ふるに際し從來の旋盤の如く被切削物を旋盤に取り付け固定することなく被切削物たる金屬環のみを旋回して互に相對する刃物又は研磨砥石により極めて精確且迅速に切削せしめ以て在來の工作機械の有する缺點を除き精密工作により大量生産をなさんとする目的を以て工作物たる金屬環を其の内側に於て外側に向つて張出す傾向を有する數個の轉子に依り旋回自在に支持せしめ金屬環の兩側面又は内外兩面若は以上兩側面及外兩面に一對又は以上の研磨車を配置し前記内側の轉子を起動轉子とし或は研磨車自體の廻轉に依り金屬環を旋回せしむべくせる金屬環工作機械。

酸化金屬製磁石の磁化法 (9年特許公告第20號、公告9-1-8、東京市、三菱電機株式會社) 酸化金屬製磁性體を容易に強力なる磁力を附與せしむべき磁化法を得んとする目的を以て酸化鐵と元素周期系表第一族及第二族以外の金屬の酸化物とより成り粒子を加熱壓縮其他類似の操作を加へて密接せしめて成形したる磁性體を常溫より高き溫度に於て交番磁場に置きたる後之を其儘若は常溫に於て直流磁場に於て磁化せしむることを特徴とする磁化法。

熔接用電極 (9年特許公告第36號、公告9-1-10、東京市、株式會社芝浦製作所) 電極より被覆を剝離する事なく操作又は彎曲し得ると共に高き抗張力を有する緻密にして延性に富む熔接を生成する熔接用電極を得る目的を以て滿庵鐵重量にて10分と滑石重量にて10分と長石重量にて30分と液體珪酸曹達重量にて24分とを概略の成分とする電弧熔接作業用融劑を有する熔接用電極。

棒鐵材、型鐵材等の壓延機棒構 (9年特許公告第54號、公告9-1-10、獨逸、デマージ・アクチエンゲゼルシャフト) 製作せらるべき型材の形狀に應じ作働輦子を容易且つ確實に調整し得べき壓延機棒構を得んとする目的を以て輦子軸を筐構内に支承し輦子軸に直角に移動せしむるを得べき滑子上に外方に向け移動し得べく配置せることを特徴とし各一電動機に依り驅動する3個以上の輦子を共通の一平面内に配置してなる棒鐵材、型鐵材等の壓延機棒構。

球或は轉子軸承 (9年特許公告第84號、公告9-1-12、瑞典國、アクチボラゲト、スヴェンスカ、クラゲルファブリケン) 軸承の装着及解離容易なると共に軸承と軸頸との間に關係運動が生ずるも兩部材に著しき磨滅を生ぜしむることなからしめんとする目的を以て軸承と軸頸との接觸面間に遊隙を設け該遊隙に催滑劑を導入し

各接觸面に供給し得せしむ可くなせる球或は轉子軸承。

炭素燒鋼の製造方法 (9年特許公告第97號、公告9-1-12、東京市、株式會社日立製作所) 優良なる炭素燒鋼を極めて容易に得んとする目的を以て軟鋼資料の表面に厚さ0.0005~0.002mmのNi若くはCrを鍍金し該鍍金層を通過せしめてCのみを軟鋼資料なる基材中に炭素燒により滲透せしめ後焼入れする事の特徴とせる炭素燒鋼の製造方法。

鑽石又は金屬酸化物還元用テルミット電極 (9年特許公告第99號、公告9-1-12、東京市、秩父電氣工業株式會社) Cを全く又は殆んど含まざる金屬又は鐵合金を夫々の鑽石又は酸化物より容易に製造し得べき電極を得んとする目的を以てテルミット還元劑を適當に破碎したるものに水硝子を加へて練合せ之を金屬製容器内に装入加壓して約80°C以下の溫度にて水硝子中の水分の一分を殘存せしむる程度に乾燥して成れる鑽石又は金屬酸化物還元用テルミット電極。

炭酸瓦斯定量裝置 (9年特許公告第105號、公告9-1-12、東京市、片倉製絲紡績株式會社) 瓦斯計量槽の底部に彈性隔膜を張り槽水の盈虛を利用して唧筒作用を行はしむることに依り簡單に計量濟廢氣の排出を行はしめ以て全體の構造簡單なる連續作動式炭酸瓦斯定量裝置を得んとする目的を以て送水管を通して密閉せる瓦斯計量槽に連續的に給水を行ふ間に其の溜水の水頭に依り該給水量よりも大なる排水能力を有するサイフォン管を自動的に作動せしめて間歇的に槽水の排流を行はしめ之に基く槽水の盈虛に依り夫々逆止瓣を具ふる吸氣管より一定量の試驗瓦斯を吸引したる後送水管より濾過槽を通して之を計量器に送る作用を行はしめ前記計量槽の底部に彈性隔膜を張り其の下部に形成せらるる氣室を計量器の排氣口に連通せしめて計量槽内の水の盈虛に基く隔膜の昇降動を利用して之に唧筒作用を行はしめかつ計量器の廢氣放出口を行はしむることを特徴とする連續式炭酸瓦斯定量裝置。(附記省略)

クロムシリサイド又はクロム鐵シリサイド製造法 (9年特許公告第110號、公告9-1-15、東京市、秩父肥料株式會社) 比重大に熔融點高きクロム鐵又は酸化クロムを豫め熔融し易き狀態に變化せしめて之を珪石と共に爐内に装入し比較的低溫度に於て容易に還元してCの混入を阻止しクロム、シリサイド又はクロム鐵シリサイドを生成せしめんとする目的を以てクロム鐵石其他酸化クロム含有物に少量の珪石及苦土其他のアルカリ土類の酸化物を加へ豫め加熱熔融し熔融點低きものに變化し冷却後之を粉碎し更に珪石及Cを加へ電氣爐にて熔融還元することを特徴とするクロムシリサイド又はクロム鐵シリサイドを製造する方法。

金ペン用合金 (9年特許公告第111號、公告9-1-15、東京市、株式會社並木製作所) エポナイトより遊離する腐蝕性瓦斯による金ペンの變色を輕微ならしむる金ペン用合金を得んとする目的を以て Au 37.0~75.0%、Ag 14.0~40.0%、Cu 7.0~30.0%、Fe 0.1~10.0%、Zn 0.2~6.0%、Ni 0.3~5.0% の組成に含有せる金ペン用合金。

團鑄の製造方法 (9年特許公告第252號、公告9-1-24、東京市、日置雅章) 乾式製鍊に適すべき粘結力の強固なる團鑄を化學上合理的なる材料を利用して極めて經濟的に煉製せんとする目的を以て諸金屬の自然鑄及選鑄精鑄の砂鑄、粉鑄、泥鑄等を無定形C微粒子たる煤煙類の水膠質溶液、懸濁液を以て結合せしむる團鑄の製

造方法。

ニッケル、チタン鋼製永久磁石 (9年特許公告第256號、公告9-1-24、仙臺市、金屬材料研究所長) 廉價にして耐久性大なる永久磁石を得んとする目的を以て Ni 3~50%、 Ti 1~50%、殘餘の Fe 及不純物を含有する合金製永久磁石。

Co, Ni, Ti 鋼製永久磁石 (9年特許公告第257號、公告9-1-24、仙臺市、金屬材料研究所長) 殘留磁氣及抗磁力共に大にして耐久性高き永久磁石を得んとする目的を以て Ni 3~50%、 Ti 1~50%、 Co 1~60% 殘餘の鐵及不純物を含有する合金製永久磁石。

ワキヤー自働供給機 (9年特許公告第265號、公告9-1-24、大阪市、坂田千松) ワキヤーを一條宛順次目的に供給すべからしめ以て人工を省略してワキヤーを正確且迅速に供給せしめんとする目的を以て機框の前方に傳動機構により一定速度の上下動をなす昇降體を設け該昇降體は2個乃至數個の電磁石を並設せるものを本體とし電磁石の下面に誘導子(22)を存設して電磁石の鐵心杆の下端を誘導子(22)の透孔を介して外界に臨ましめ昇降體が最上位の位置に迄上昇せる場合には電磁石の作用はスイッチにより自動的に遮断せらるゝ様なしたることを特徴とするワキヤー供給機。

アルミニウム輕合金 (9年特許公告第278號、公告9-1-24、大阪市、株式會社大阪製鐵所) 相當の硬度防腐蝕性を有し更に彈性及靱性を保持する輕合金を得んとする目的を以て、 Si 1.2~0.7、 Mn 1.0~0.5、 Sn 0.5~1.0、 Cr 0.2~0.5、 Al 殘留〔但し百分比を以て表はす〕を含有せしめたるアルミニウム輕合金。

アルミニウム又は其合金に陽極被膜を施す方法 (9年特許公告第166號、公告9-1-17、英國、シドニー、ローランド、シエパード) Al : アルミニウム合金及アルミニウム被覆物の表面に特に海水に對して耐蝕性大なる酸化皮膜を生ぜんとする目的を以て水、硫酸並にグリセリンよりなる電解液を使用することを特徴とするアルミニウム又アルミニウム合金又はアルミニウム被覆物等に陽極被膜を生成せしむる方法。

鍍金板熔接方法 (9年特許公告第174號、公告9-1-17、東京市、中村秀三) 熔接の餘熱を利用して鍍着金屬を熔融着することに依り容易に熔接部面の鍍着をなし得べき鍍金板の熔接方法を提供せんとする目的を以て熔接すべき鍍金板の兩端面を電氣抵抗熔接法に依り熔接したる後直ちに此の熔接部面を清淨となし熔接の餘熱を以て該熔接部面に鍍着金屬板を當てて熔融せしめ鍍金を補足することを特徴とする鍍金板熔接方法。

モリブデンの密着性被覆を他の材料より成る任意成形體上に施す方法 (9年特許公告第176號、公告9-1-19、獨逸、パテントトロイバンド、ゲゼルシャフト、フューエル、エレクトリツシエ、グリエーランペン、ミット、ベシエレンクテル、ハフツング) 簡單且つ確實に密着性にして且強き凝集性の Mo 被覆を任意の材料より成る任意成形體上に施さんとする目的を以て被覆せらるべき物體上に還元し得べき Mo 化合物の薄層をコロイド状態にて施し次に被覆せられたる物體に還元性雰囲気中に於て $900^{\circ}C$ 以上の溫度に於て金屬 Mo に完全に還元する迄加熱する事の特徴とする Mo の密着性被覆を他の材料より成る任意成形體上に施す方法。

鋼塊鑄造用鑄型塗料 (9年特許公告第202號、公告9-1-19、大阪府、陸軍大臣) 鋼塊肌を美麗ならしめ割疵砂蓄みを少なからしむると共に鋼塊内部に發生する收縮管氣泡及熔滓介在等の如き缺陷をも少なからしめ以て壓延又は鑄造素材に現はるゝ疵を僅少ならし

むるの外鑄型内面を保護することにより其の命數を延長せしめんとする目的を以て重量百分率次の如く混合されたる鋼塊鑄造用鑄型塗料、混合率の範圍、アスファルタム 28.0~37%、生石灰微粉 1.5~3.0%、蠟石微粉 3.0~6.0%、耐火粘土微粉 3.0~6.0%、珪石微粉 1.5~3.0%、アルミニウム箔粉 3.0~8.0%、樟腦油 20.0~47.0%、ベンゾール 8.0~22.0%。

遠心力管鑄造方法の改良 (9年特許公告第205號、公告9-1-17、仙臺市、濱住松二郎) 長大なる鑄型を必要とせずして簡單なる装置を以て迅速に良好なる長尺管を鑄造せんとする目的を以て熔融金屬が高速廻轉の鑄型に鑄入せられて一部分凝固すると同時に之を型より離脱して連續的に軸方向に引出すことを特徴とする遠心力管鑄造方法。

纖維狀亞鉛を製造する方法 (9年特許公告第214號、公告9-1-22、大阪市、宮臺勝次) 工業的各種の用途に供して容易に分解又は變化を受けしめ得べき資料を極めて簡便且つ廉價に供給せしめんとする目的を以て亞鉛を熔解して熱湯となし該熱湯の表面を平版又は齒齒狀其他の器具にて軽く且つ均等に摩擦して湯面に發生する皮膜を左右に搔寄せ急速に之を冷却せしめて纖維狀亞鉛を製造する方法。

軸承 (9年特許公告第216號、公告9-1-22、米國、ゼネラル、モーターズ、コーポレーション) 此種の軸承に於て實際に作用する軸承金屬の層の厚さを著しく薄くし、然も該裏層を支持胴と緊密に融合せしめて堅牢なる一體的の軸承を構成し該軸承面が磨蝕する場合にも有効に作用する軸承を得る目的を以て鐵製の外側支持胴と青銅の裏裝とより成る軸承に於て此等の金屬を融合する事により青銅裏裝の層を備ふる鐵製胴を構成し該融合部分に於て銅以外の殆んど總ての成分を排除したる事の特徴とする軸承。

含チタン鐵鑄より主として酸化チタンよりチタニウム含有物を造製する方法 (9年特許公告第220號、公告9-1-22、堺市、堺化學工業株式會社) 含チタン鐵鑄より簡單且經濟的にチタン濃縮物を得んとする目的を以て含チタン鐵鑄を細末となし之に適當量の炭酸曹達を混和灼熱し其の熔融物を冷水に投じ粉碎水洗して珪酸鹽を除去したるものに稀酸類を加へ加熱して鐵分を除去し Ti 濃縮物を得るに當り先づ原料含チタン鐵鑄に炭酸曹達と共に C 含有の還元劑を添加して灼熱熔融し且つ該熔融物の水洗溶液に炭酸瓦斯を通して析出する沈澱を濾過分別せる後其の溶液を蒸發乾涸して炭酸曹達を回收し之を前記含チタン鐵鑄に添加すべき炭酸曹達として反覆使用することを特徴とする含チタン鐵鑄より主として酸化チタニウムより成るチタニウム濃縮物を製造する方法。

含チタン鐵鑄より鐵を殆んど含まざるチタニウム含有物の製法 (8年特許公告第222號、公告9-1-22、堺市、堺化學工業株式會社) 含チタン鐵鑄主體物より Fe を含まず従つて白色度大にして Ti の含有率高く其の儘各種工業用或はチタニウム顔料を製造するに最も適合するか如き Ti 含有物を經濟的に得んとする目的を以て含チタン鐵鑄に C 含有物質を加へ或は加へずして之に炭酸曹達を混和灼熱し熔融の後其の熔融物を冷水に投じて粉碎水洗し珪酸曹達を除去したるものに稀酸類を加へ加壓の下に加熱することを特徴とする含チタン鐵鑄の加熱生成物より殆んど Fe を含まざる Ti 含有物を製造する方法。

耐久性粒狀石灰室素製造法 (9年特許公告第225號、公告9-1-22、米國、アメリカン、サイアナマイド、コンパニー) 石灰室素の分解と粉末廢物生成とを防止し耐久性甚だ勝れたる粒狀製品を得

んとする目的を以て粗石灰室素を遊離石灰及カーバイドのみを水和する量の水を以て先づ水和し其水和が完全に行はれたる後に至りて膠着劑添加によりて粒塊形成を達し次に可及的迅速加熱によりて成品含水量を5%以下殊に宜しとするは1~2%以下まで除去し水和、膠着劑添加、粒狀成形を各別の配列装置にて行ふことより成る前記全操作の結合を特徴とする耐久性粒狀石灰室素製造法。

電氣的速度測定装置 (9年特許公告第366號、公告9-1-31、東京市、株式會社芝浦製作所) 流體の密度に略無關係に流體と固體との相體速度を測定し得る装置を得んとする目的を以て流體と固體との相對速度を測定すべき物體より流體中に突出し該物體と流體との相對運動の方向と略直角なる平面内に於て前記物體と流體との相對速度に比例する周波數を以て振動すべく配置したる可動體と該可動體の運動を利用し其の振動の周波數に關係する周波數の電流を發生する装置と該電流に應じて前記相對速度を表示する計器とより成る電氣的速度測定装置。附記1, 2, 3, 4, 省略。

Mgの電解製造方法 (9年特許公告第371號、公告9-1-31、仙臺市、伏屋儀一郎外一名) 生成Mgを該中空陰極内に捕集し以て高電流効率にて連續してMgOよりMgを製造する目的を以てMgにより胃されざる金屬にて作り且其の外表面を冷却装置により生ぜしめたる陽組成鹽の凝固物により被覆するか或は熔融弗化物に胃され難き物質例へば磁器又はクロム鐵鍍、MgO、Al₂O₃、カオリン、耐火粘土、或は是れ等の物の内の二或は二以上の混合物を主成分とする耐火物の如きものを以て直接又は保温材を介せしめて被覆し更に其の下部を上記の如き陽組成鹽の凝固物を以て被覆したる中空陰極を設けたる電解槽を用ひてMgOと弗化アルカリ金屬、弗化アルカリ土金屬等との混合物を主成分とする熔融電解浴にて酸化マグネシウムを電解してMgを製造する方法。

鉛合金 (7年特許公告第377號、公告9-1-31、東京市、中山頑太郎) 質強靱、屈曲に耐へ、加工容易にして耐蝕性極めて良好なる鉛合金を得んとする目的を以てPbを基礎合金とし之にNi 0.05~1%とSb 0.05~2%とNa 0.01~0.5%を含有せしめたる鉛合金。

鑽石定量送給機 (9年特許公告第295號、公告9-1-26、大阪府、範多龍平) 排出鑽石の質量の變化に依り排出筒の開度を自動的に調節せしめ常に一定重量の鑽石を排出せしめ轉子の回轉數を回轉計に表示せしめ給鑽重量を正確に算出せんとする目的を以て無端輸送帶を水平に掛けたる二轉子を軸架せる水平棒を給鑽筒に固定せる排出筒に樞著して扉及平衡錘を俱ふる槓杆を該排出筒及水平棒に樞著し廻轉計を水平棒に裝設したる事を特徴として成れる鑽石定量送給機。

通信用電纜撻合機に於ける線心張力の平衡裝置 (9年特許公告第341號、公安9-1-29、東京市、古河電氣工業株式會社) 簡單なる構造に依り總ての捲框に對する制動効果を自動的に均せしめて總ての線心又は撻合線心の撻合張力を常に均齊ならしめ以て容量の平衡せる撻合線心又は撻合線心群を得んとする目的を以て撻合せらるべき線心又は撻合線心を捲付けたる捲框を調帶に依りて聯結し該調帶に共通の制動力を附與することを特徴とする通信用電纜撻合機に於ける線心張力の平衡裝置。

鋼索特殊撻線裝置 (9年特許公告第389號、公告9-2-2、大阪府、東洋製鋼株式會社) 簡單なる裝置に依り素線に一定の螺旋歪を有効に生ぜしめ且鏡板の後方に於て素線に撻の生ずるを防止せんとする目的を以て素線が大陽系運動をなしつつ鏡板孔を通過して撻線を形成せしむる鋼索撻線裝置に於て素線を鏡板と獨立の回轉をな

すか或は全く静止する双曲體に180~360°C 纏回せしめたる後鏡板孔を通過せしむる事を特徴とする鋼索特殊撻線裝置。

金屬整流器鍍製造方法 (9年特許公告第398號、公告9-2-2、京都市、株式會社島津製作所) 整流能率良好なると共に強固にして剝離し難き硫化第二銅層を有する此種整流器鍍を容易に且短時間の處理にて得んとする目的を以て銅面に形成せられたる酸化第一銅層を多硫化アンモニウム溶液の蒸氣に接觸せしめ其の表面を酸化せしむると同時に之を硫化し直に酸化第一銅層の表面に強固なる硫化第二銅層を生成せしむることを特徴とする金屬整流器鍍製造方法。

高温度に於て酸化し易き合金の熱處理裝置 (9年特許公告第399號、公告9-2-2、東京市、古河電氣工業株式會社) 高温度に於て酸化し易き合金の燒鈍に際しこの種合金の酸化を防止し得べき工業的裝置を得んとする目的を以て高温度に於て酸化し易き合金の熱處理を行ふに當り空氣を抱有し加熱燒鈍中之を放出する耐火材料使用量極めて少き高周波誘導電氣爐を用ひ精製水素を導入し爐内の酸素壓を此の種合金の最低酸化物の酸化壓以下に保持することを特徴とする高温度に於て酸化し易き合金の熱處理裝置。

不反撥性鋼索製造法 (9年特許公告第416號、公告9-2-2、東京市、東京製鋼株式會社) 鋼索の假成を容易且確實とし我儘を生ずる事無く完全なる不反撥性鋼索を得んとする目的を以て自轉及公轉をなす條捲の公轉と共に回轉する鏡板を通過したる素線をして二本宛相合せしめ完成鋼索よりもピッチ大なる様假撻し素線の進行につれ鋼索の假成直前に於て之を解舒し豫め素線に幾多の螺旋癖を呈せしめたる後ピッチ小なる鋼索の假成行程に入らしめて再び之を解舒し最後に完成鋼索に撻成する事を特徴とする不反撥性鋼索製造法。

耐熱性被覆層生成法 (9年特許公告第427號、公告9-2-5、東京市、江澤謙二郎) 耐熱性にして加熱作用により剝離する懼なく均質なる被覆層を形成し被鍍金體が高熱のため破壤腐蝕するを防止し其生命を著しく長からしむる目的を以て噴射鍍金法により金屬被覆層を形成するに當り適量のZn, Cd, Ni, Mg又はCuの一種又は二種以上を含有するAl基合金を使用することにより耐熱性にして高熱作用を受くも剝離することなき被覆層を形成せしむることを特徴とする耐熱性被覆層生成法。

耐腐蝕性管棒鍍製造用銅合金 (9年特許公告第429號、公告9-2-5、神戸市、株式會社神戸製鋼所) 國產原料を使用して價格低廉に耐腐蝕性強大なると共に機械的性質も優秀なる管、棒、鍍を製造し得る材料を提供せんとする目的を以てZn 10.0~40.0%、Cr 0.1~2.0%、Fe 0.1~2.0%、Mn 0.1~2.0%、Al 1.0~7.0%及殘部Cuを含有する耐腐蝕性管、棒、鍍製造用銅合金。

煉炭製造法 (9年特許公告第452號、公告9-2-5、宇部市、日本發動機油株式會社) 廢棄物を應用して燃燒する際煤煙を發生せし且つ灰分を殆んど殘留せざる塊狀燃料を經濟的に得んとする目的を以て鑽油を硫酸洗滌する際副生する廢硫酸油滓を加熱し油分「ター」狀物質及硫酸に成層分別せしめ油分及硫酸を回收し「ター」狀物質に木屑又は石炭其他の炭素質物を加へ混捏成形後300~800°Cに徐々に温度を上昇せしめつつ煉炭々成することを特徴とする煉炭製造法。

固着スタッド鍛造鎖の製造法 (9年特許公告第455號、公告9-2-5、海軍大臣) リンク粗材の餘肉を利用して最も經濟的にスタッドの固着を爲し以て鎖使用中に於けるスタッドの脱落を防ぎ且又スタッド締直し作業を省く目的を以て一本の鋼棒よりスタッド體

鎖を鍛造するに當りリンク粗材の一部に餘肉を有する未完成部分を
残しおきこの間に兩端凸形のスタッドを置き仕上型に打込みてリンクを完成する際餘肉をスタッドの兩端にはみ出させて之を抱き込ませスタッドを完全に固着する鍛造鎖の製造方法。

銅合金 (9年特許公告第462號、公告9-2-7、東京市、古河電氣工業株式會社) 鍛錬性、展延性、牽伸性に富み然も抗張力、導電率共に大なる銅合金を得んとする目的を以て Ag 0.1~10%、Mg 0.001~3.0%、殘餘 Cu 及不純物を含有する銅合金。

鋼管製梯 (9年特許公告第486號、公告9-2-7、瑞典國、アンデルス、ウイクストランド) 輕量にして頑大なる構造の梯を得んとする目的を以て側管を平坦なる側壁を備ふる構造となし其互に相對する平坦なる側壁に所定間隔を距て梯棧の端部を嵌入保持すへき内外一對の孔を設け該梯棧の端部は之を二段に減縮して肩部を構成し内外の兩肩部は夫々側管に於ける内外兩孔の縁部に密接して存せしめ梯棧の外端を壓搾装置によりて側管の外方孔周圍に皺縮壓縮して成る鋼管製側管及其中間の鋼管製梯棧を備ふる鋼管製梯。

輕金屬或は其合金上に他金屬を鍍着する方法の改良 (9年特許公告第494號、公告9-2-9、大阪府、藤井殺太郎) 輕金屬或は其合金に金屬性被覆を施して其等に耐蝕性を附與するか其外觀を美化し其等の實用性を増大せんとする目的を以て高温にて輕金屬或は其合金上に鍍金せんとする金屬の化合物の蒸氣を觸れしめて該輕金屬或は合金上に金屬を渡着する方法。

線心又は線心群の捲取機に於ける線心捲取張力自働平衡裝置 (9年特許公告第525號、公告9-2-9、東京市、古河電氣工業株式會社) 兩線心又は兩線心群間に張力の不平衡を生じたる時之を自動的に平衡せしめて捲取られたる兩線心又は兩線心群の長さを等しからしめんとする目的を以て二條の線心又は線心群を並行に捲取る捲取機に於て兩線心又は兩線心群が夫等の捲取機又は容器より解

かれて捲取機又は捲取容器に至る中途に於て廻轉自在に裝置せられる共通の調整輪又は連結せられ廻轉自由に裝置せられたる調整輪組に反對方向の廻轉力を與ふる様壓觸せしめらるることを特徴とする線心捲取張力自働平衡裝置。

特許 拔 萃

特許 番 號	名 稱	特 許 權 者	公 告 拔 萃 本 誌 記 載 番 號
103986	銅 合 金	古河電氣工業株式會社	第19年7號
103998	特種合金鋼の銲接に使用すべき電弧銲接棒	三菱造船株式會社	" 8號
104000	耐酸耐熱性鑄鐵	横濱船渠株式會社	" 9號
104001	同	同	" "
104033	Mg と Zn 又は Al 又は此等兩金屬との多元系合金	エステラライヒツシユ、アメリカニツシユ、マグネシウム、アクチエンゲゼルシャフト	" "
104045	成形燃料製造方法	望 月 脩 二	ナ シ
104126	セレンウム整流器盤製造法	福 田 勝	ナ シ
104128	亞酸化銅光電池板製造方法の改良	遞 信 大 臣	第19年10號
104152	鐵の炭素燒裝置	ファイルマ、ヨット、アイヘリン	" 9號
104187	金屬殊に Mg 及 Mg 合金の精製法	フレデリック、バツヂエー外一名	" 10號
104248	海綿鐵製造法	金屬材料研究所長	" 9號
104249	抗張力大なる鑄造用輕合金	株式 神戶製鋼所會社	" 10號
104302	軸 承 合 金	合資會社アサヒメタル工場	ナ シ
104207	塗布式防銹性塗裝下地生成法	日本パーカライジング株式會社	第19年9號
104314	酸化銅層處理法	加藤與五郎外二名	" 10號
104327	接觸酸化防止裝置	日本エスケイエフ興業株式會社	" "
104344	滲炭防止劑	高 橋 源 助	" "
104383	板狀、線狀或は帶狀等の磁性材料の處理法	アルゲマイネ、エレクトロテアーツ、ゲゼルシャフト	" 9號

主要製鐵所に於ける鐵鋼材生産表

(單位噸)

(商工省鑛山局)

一 減

品 目	12 月 分			1 月 以 降 累 計			
	昭和8年	昭和7年	比較増減	昭和8年	昭和7年	比較増減	%
銑 鐵	160,285	108,303	51,982	1,598,026	1,171,562	426,464	36
普 通 鋼	39,412	41,883	- 2,474	433,523	370,492	63,031	17
販 賣 向 鋼	300,669	266,685	33,984	3,047,416	2,360,492	686,924	29
同 造 鋼	6,244	7,192	- 948	92,497	72,515	19,982	27
同 造 鋼	13,523	8,942	4,581	119,471	135,341	- 15,870	11
同 造 鋼	5,583	4,058	1,525	57,750	30,180	27,570	91
普 通 鋼 壓 延 鋼 材	222,304	204,928	17,376	2,456,169	1,943,301	512,868	26
普 通 鋼 壓 延 鋼 材 内 譯							
厚 0.7mm 以 下 鋼 板	24,454	24,918	- 494	301,522	286,201	15,321	5
其 他 鋼 板	43,793	50,468	- 6,675	476,812	328,215	148,597	45
棒 形 鋼	54,615	46,944	7,671	638,866	499,124	139,742	27
軌 道 鋼	27,385	28,653	1,268	333,717	250,292	83,425	33
線 材	32,560	20,244	12,316	275,784	237,118	38,666	11
鋼 材	27,690	20,673	7,017	281,217	215,799	65,418	30
鋼 管	9,250	8,050	1,202	114,323	95,908	18,415	19
其 他	2,553	4,948	- 2,395	33,928	33,716	212	1